



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年6月28日

上場会社名 株式会社 さが美 上場取引所 東
 コード番号 8201 URL <http://www.sgm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平松 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(業務担当) (氏名) 宿野 大介 TEL 045-820-6002
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月2日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績（平成25年2月21日～平成25年5月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------------------------|-------|--------------------------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年2月期第1四半期 | 4,547 | △11.4 | △653 | — | △649 | — | △689 | — |
| 25年2月期第1四半期 | 5,130 | 1.4 | △635 | — | △636 | — | △676 | — |
| (注) 包括利益 | 26年2月期第1四半期 △639百万円 (-%) | | 25年2月期第1四半期 △682百万円 (-%) | | | | | |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期第1四半期 | △17.37 | — |
| 25年2月期第1四半期 | △17.01 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年2月期第1四半期 | 13,776 | 6,975 | 50.6 |
| 25年2月期 | 13,210 | 7,615 | 57.6 |

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 6,975百万円 25年2月期 7,615百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年2月期 | — | — | — | — | — |
| 26年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年2月21日～平成26年2月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,585 | △6.7 | △150 | — | △152 | — | △255 | — | △6.42 |
| 通期 | 23,230 | △3.1 | △145 | — | △150 | — | △365 | — | △9.19 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年2月期1Q | 40,834,607株 | 25年2月期 | 40,834,607株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年2月期1Q | 1,123,212株 | 25年2月期 | 1,119,208株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年2月期1Q | 39,713,720株 | 25年2月期1Q | 39,738,413株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度から続く「アベノミクス」効果による、円安・株高と企業業績の改善期待を受け、活性化しつつあります。個人消費におきましても、金融資産価値上昇などを受け、小売環境に改善の兆しが見られ、大手小売業では売上高が前年や前月を上廻るなど、堅調な推移を示しております。特に、百貨店においては高額品が好調に動いており、先行きに期待が感じられる状況であります。

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年実績に対し88.6%（5億79百万円減）になりました。これは、前年10月に㈱九州さが美を売却したことによる15店舗減少の影響が1億98百万円ある他、㈱さが美、㈱東京ますいわ屋の店舗も前年同月比で17店舗減少したことによるところが大きく、既設店前年比では売上高で97.4%、販売契約高は98.9%になっております。

きもの事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高が既設店前年比98.7%となりましたが、販売契約高の既設店前年比は100.3%と改善いたしました。今後納品が進めば、売上高も改善してくると予想しております。㈱さが美のきもの事業におきましては、前年に能登加賀屋にておこなった展示販売会の分析をふまえて、当連結会計年度より40周年特別企画と銘打ち新たに京都一寧坂で行っている優良顧客向け展示販売会が、お客様に大変好評で会場契約高も計画を大幅に上廻りました。また店舗で展開している40周年記念商品の販売も好調に推移いたしました。またこれら40周年企画の成功によって、荒利益率も改善しております。

㈱東京ますいわ屋におきましても、展示販売会を京都小倉山万葉苑（東京ますいわ屋迎賓館）に集約するなど経費圧縮に努めた結果、店舗数は前年比1店舗減少ながら、販売契約高、売上高とも前年を維持して、利益面で改善いたしました。

ホームファッション事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年比で76.0%と大きく下廻りました。これは前年に比較し店舗数が12店舗減少したことと、既設店においても客数減少によって売上ダウンを招いたためです。

店舗面におきましては、きもの事業については当第1四半期連結累計期間における出店、閉鎖はありませんでした。ホームファッション事業は業態の変更により1店舗を出店、契約満了により2店舗を閉鎖いたしました。これにより当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、㈱さが美223店舗、㈱東京ますいわ屋46店舗、グループ合計で269店舗となっております。また業態別店舗数は、きもの事業206店舗、ホームファッション事業63店舗、となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益45億47百万円（前年同四半期比11.4%減）となり、利益面においては、営業損失6億53百万円（前年同四半期比17百万円の悪化）、経常損失6億49百万円（前年同四半期比12百万円の悪化）、四半期純損失6億89百万円（前年同四半期比13百万円の悪化）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、137億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億65百万円増加しました。これは主として、商品が増加したことなどによるものであります。

負債については、68億円となり、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加しました。これは主として、短期借入金や前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産については、69億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億39百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の景気動向につきましては、金融政策に対する期待感により、急速に進んでいた円安株高が、乱高下しており、消費者物価も上がり始めるなど、日本経済に対する見通しは不安定な状況となっております。

当社グループといたしましては、40周年企画の準備に万全を期して確実に成功させるとともに、ホームファッション事業の早期回復に努めて、計画の着実な達成を図ってまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在して
おります。

当社グループは親会社であるユニーグループ・ホールディングス株式会社の支援のもと、きもの事業を核とした事業の再構築および経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めておりましたが、きもの事業を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、東日本大震災の影響を受けた平成24年2月期連結会計年度に引き続き、前連結会計年度においても営業損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しています。

このような状況に対して、当社グループは、店舗のサービスレベルの向上、販売スタッフの専門性アップ、そして付加価値の高い商品の開発と提案に努めることにより、お客様の満足度向上を図り顧客化を深化させることによつて、当該状況の解消に取り組んでまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 572,701 | 642,114 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,024,832 | 1,011,803 |
| 商品 | 2,051,932 | 2,370,840 |
| 貯蔵品 | 55,369 | 7,247 |
| その他 | 1,232,737 | 1,326,170 |
| 貸倒引当金 | △660 | △660 |
| 流動資産合計 | 4,936,912 | 5,357,516 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 351,009 | 417,246 |
| 土地 | 3,151,249 | 3,151,249 |
| その他(純額) | 54,060 | 72,105 |
| 有形固定資産合計 | 3,556,319 | 3,640,601 |
| 無形固定資産 | 18,219 | 35,306 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 3,021,977 | 2,932,999 |
| その他 | 1,820,735 | 1,952,319 |
| 貸倒引当金 | △143,584 | △142,246 |
| 投資その他の資産合計 | 4,699,128 | 4,743,072 |
| 固定資産合計 | 8,273,667 | 8,418,980 |
| 資産合計 | 13,210,579 | 13,776,497 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月20日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,091,543 | 1,033,806 |
| 短期借入金 | — | 1,000,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 未払法人税等 | 191,064 | 42,250 |
| 前受金 | 1,261,470 | 1,615,250 |
| 賞与引当金 | 21,200 | 42,000 |
| 資産除去債務 | 22,018 | 3,000 |
| その他 | 1,032,481 | 1,070,733 |
| 流動負債合計 | 4,619,779 | 5,807,040 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 448,309 | 434,558 |
| 資産除去債務 | 335,800 | 343,274 |
| その他 | 190,989 | 215,648 |
| 固定負債合計 | 975,099 | 993,481 |
| 負債合計 | 5,594,879 | 6,800,522 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,217,235 | 9,217,235 |
| 資本剰余金 | 405,057 | 405,057 |
| 利益剰余金 | △1,175,408 | △1,865,324 |
| 自己株式 | △348,102 | △348,585 |
| 株主資本合計 | 8,098,782 | 7,408,383 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 67,277 | 117,950 |
| 土地再評価差額金 | △550,359 | △550,359 |
| その他の包括利益累計額合計 | △483,081 | △432,409 |
| 純資産合計 | 7,615,700 | 6,975,974 |
| 負債純資産合計 | 13,210,579 | 13,776,497 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 5,083,514 | 4,503,601 |
| 売上原価 | 2,314,790 | 2,016,633 |
| 売上総利益 | 2,768,723 | 2,486,968 |
| 営業収入 | 47,120 | 43,924 |
| 営業総利益 | 2,815,844 | 2,530,893 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 1,371,125 | 1,271,925 |
| 賞与引当金繰入額 | 24,140 | 20,800 |
| 退職給付費用 | 79,046 | 39,255 |
| 賃借料 | 801,593 | 724,461 |
| その他 | 1,175,765 | 1,127,962 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,451,672 | 3,184,405 |
| 営業損失(△) | △635,827 | △653,512 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 32 |
| 受取配当金 | 88 | 88 |
| 仕入割引 | 5,523 | 5,050 |
| その他 | 3,380 | 4,082 |
| 営業外収益合計 | 9,024 | 9,253 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,902 | 4,003 |
| 支払補償費 | 4,193 | — |
| その他 | 1,555 | 1,030 |
| 営業外費用合計 | 9,652 | 5,034 |
| 経常損失(△) | △636,455 | △649,293 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,708 | 5,544 |
| 投資有価証券評価損 | 2,489 | — |
| 減損損失 | 1,010 | 28 |
| 特別損失合計 | 5,208 | 5,573 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △641,663 | △654,867 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 33,768 | 32,430 |
| 法人税等調整額 | 668 | 2,618 |
| 法人税等合計 | 34,436 | 35,048 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △676,100 | △689,916 |
| 四半期純損失(△) | △676,100 | △689,916 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △676,100 | △689,916 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,715 | 50,672 |
| その他の包括利益合計 | △6,715 | 50,672 |
| 四半期包括利益 | △682,816 | △639,243 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △682,816 | △639,243 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。